|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 家族の力（意欲・生活力）(思い・有する力／高まる方策) | 本人の力（意欲・生活力）(思い・有する力／高まる方策) | 住民の力（意欲・活動）(思い・有する力／高まる方策) |
| 社会資源につなぐ生活問題・課題（主訴/支援者の見立て）（公的・民間/手段的・情緒的） |  | 社会資源をつくる（公的・民間/手段的・情緒的） |
| 現在つながっている（公的・民間/手段的・情緒的） | 専門職の力（知識・体制）(思い・有する力／高まる方策) | 自由発想 |

※ ＣＳＷ事例検討フレーム　日本社会事業大学社会福祉学部 准教授 菱沼 幹男氏作成

ＣＳＷ事例検討フレーム活用のポイント

・ アイデア出しのシートとして位置づけ → 出されたアイデアは否定しない。

・ 出された支援方策の優先順位は、本人・家族・地域・専門職の状況により、

実現の可能性やタイミングを踏まえて 実際のチームで検討する。

・ 同じ方策を 複数の枠に記載してもよい。

・ フレームにとらわれない 自由発想も大切。